

伊差川先生胸像除幕式：琉球政
府行政主席屋良朝苗祝辞 - 昭
和45年1月25日

znakao

祝 辞

本日伊差川世瑞先生の胸像除幕式を挙行されるに当たり、お祝いのことばを申し述べる機会を得ましたことは、私の深く喜びとするところであります。

このたび伊差川世瑞先生胸像建立期成会におかれましては、琉球音楽史上偉大な足跡を残されました伊差川世瑞先生のご遺徳とご功績を永久に記念するという趣旨のもとに、先生の胸像を建立せられ、本日先生ゆかりの地においてこのように盛大な除幕式を挙行されますことは、わが沖縄の芸能文化振興のためまことに意義深いことと存じ、心からお祝い申し上げる次第であります。

伊差川世瑞先生は、那覇市久米町のご出身で、若くして羽地間切伊差川総地頭職伊差川^幸秀氏の養子となり、明治四十一年那覇に転

住後は、野村流の先師野村親雲上安遺ペーキンアンシヨウの高弟、桑江良真翁に師事

され、野村流の音楽道に心魂を打ち込み、精進を続けられたので

あります。そして大正十年ズイセイに瑞正俱樂部を創設して、以後門弟の

養成に努力され、さらに大正十三年十月には、桑江翁門下の同志

らと相計つて「野村流音楽協会」を創立し、推されてその初代会

長となり、昭和十二年六十五才で逝去されるまで、実に十三年間

の長期にわたつて同会長として活躍され、また昭和十年には世礼

国男氏の協力を得て、琉球音楽文化史上不朽の名著とされる「声

楽譜附工工四」を発刊されて、琉球音楽野村流繁栄の基礎を築か

れたのであります。また先生は、金武良仁翁らと共に東京公演に

参加して、各皇族宮様方の御前演奏にも活躍されて、香り高い琉

球音楽のよさを広く紹介し、東都の人たちを深く感銘させたので

あります。先生は資性温厚篤実、寛仁大度、門弟に対しては「愛

してやまず、教えて儲むことを知らず」という偉大なる音楽教育家でもありました。このたびこの胸像が、建立されますことは、わが沖縄の芸術文化発展の上に多大な刺激と示唆を与えるものと信ずるものであります。先生のこの偉業が、ひろく世の中の多くの人々に知れわたり、それによつてわが郷土の芸術文化が高揚され、よりゆたかな沖縄が建設されることを念願してやまないものであります。

伊差川世瑞先生在りし日の温顔をそのままにお伝えすること胸像の前にたたずんで、先生のご高德をしのびつつ、このような有意義な事業を遂行されました胸像建立期成会の皆様に対し、深甚な敬意と謝意を表しまして、お祝いのことばをいたします。

昭和四十五年一月二十五日

琉球政府行政主席

屋 良 朝 苗

伊差川先生胸像除幕式：琉球政府行政主席屋良朝苗祝辞 - 昭和45年1月25日

<http://p.booklog.jp/book/97840>

著者 :野村流音楽協会

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/znakao/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/97840>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/97840>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ